

『リベラルアーツ学群プログラム履修モデル集』について

リベラルアーツ学群では、2年次春学期から、専門科目の履修が本格的に始まります。この履修モデル集は、みなさんが専門科目の履修を行っていくためのガイドとして編集したものです。

履修モデル集は、各プログラムの「履修の手引き」と「履修モデル」から構成されています。

●履修の手引き

- ・「履修の手引き」には、各プログラムから履修のしかたについてのメッセージが載せられています。ある程度自分の志望するプログラムが絞れている人は、それらのメッセージを参考にし履修を行って下さい。
- ・とくに、プログラムのカリキュラム構成が「積み上げ型」か「自由履修型」かで、1・2年次の望ましい履修のあり方が違ってきますので、その点を注意するようにして下さい。

●履修モデル

- ・「履修モデル」とは、各プログラムの科目をどのように履修していったらよいかを、例として示したものです。各プログラムを修了するためにはメジャー32単位、マイナー16単位の科目を修得することが必要ですが、どのプログラムも、それをはるかに上回る数の科目を提供しており、みなさんが、その専門分野の中でさらにテーマを絞った履修ができるようになっています。「履修モデル」とは、そうしたテーマの例にそったカリキュラムを示したものです。
- ・各プログラムの「履修モデル」ページには、そのプログラムの全科目をカテゴリーとレベルに応じて分類表示したマトリックスを記載しています。その中で「◎」のついている科目はメジャーの必修科目（教職モデルの場合は、教科に関する科目の必修科目）です。また、「○」のついている科目は、その履修モデルに該当する推奨科目です。
- ・また、「その他の推奨科目」には、そのプログラム科目以外のお勧めの科目を記載してあります。
- ・リベラルアーツ学群には、30のプログラムがありますが、この冊子には、各プログラムから提示された「履修モデル」が掲載されています。自分の関心あるプログラムの「履修モデル」をよく読んで、科目履修の参考にして下さい。

この『履修モデル集』は、みなさんが自分の学習計画を立てる際の目安として作成したものであり、モデルのとおり履修することを義務付けているわけではまったくありません。むしろ私たちは、みなさんが、Independent Learnerとして、自分の関心と視点に立って、独自の「履修モデル」を作成することを期待しています。

リベラルアーツ学群の科目編成はきわめて自由であり、内容を絞る、いろいろな分野を組み合わせる、その専門分野のさわりを学ぶ、など、さまざまな組み立て方が可能です。ぜひみなさんも、独自のテーマ性をもって自分の学習に取り組んでいって下さい。そして、「履修モデル」を通じたりベラルアーツ学群ならではの新しい学びの世界を、ともに切り開いて行きましょう。

哲学プログラム

履修のしかた

- ・全般的な履修の仕方: 哲学プログラムは、積み上げ型のプログラムとなっています。選択必修科目を優先的に履修してください。
- ・1年次に履修した方がよい科目: 「哲学概論」「倫理学概論」「西洋哲学・思想史 A」。哲学プログラムが提供する科目のうち、1年次に履修可能なものです。
- ・2年次に履修した方がよい科目: 「社会思想史 A/B」「哲学基礎文献講読 A/B」「倫理学基礎文献講読 A/B」「論理学」「規範倫理学基礎」。履修ガイドを確認し、「哲学・思想史」、「基礎・方法」カテゴリの科目を優先的に履修してください。

他のプログラムとの関係

- ・特に関連性の強いプログラム: 宗教学プログラム、文化人類学プログラム、社会学プログラム、科学コミュニケーションプログラム
- ・マイナーとして推奨するプログラム: 文化人類学プログラム、社会学プログラム、教育学プログラム、国際協力プログラム、環境学プログラム、メディア・ジャーナリズムプログラム、科学コミュニケーションプログラム
- ・他のプログラムで履修を推奨する科目: 「西洋文明と思想(古典古代)」「西洋文明と思想(中世から近代初頭)」「教育哲学」「科学・技術・社会 A/B」「科学技術コミュニケーション論 A/B」

留学・教職その他

- ・留学について: 短期・長期を問わず、留学を経験し、多様な言語や価値観に触れることを強く勧めます。
- ・教職について: 先輩たちの中には、教職に就いた方が沢山います。教員は哲学を生かせる職業のひとつですので、計画的に単位を修得し、教職(とくに、社会、公民)課程の修了を目指してください。
- ・毎年開催しているイベント: 専攻演習履修者を対象に夏合宿や、ゼミ論発表会、卒論発表会を実施しています。

学生へのメッセージ

- ・当該プログラムの魅力のアピール: 哲学プログラムは皆さんが単に生きるためではなく、善く生きるための手伝いをしたいと考えています。そこで皆さんには、就職や進学などの重要な機会はもちろん、生涯にわたって活かせるような考え方、スキルや態度を身につけてもらいます。具体的には、論理的思考や正確な文章の読み書き、身の周りの人々や社会に貢献するための議論の方法などです。こうした能力は、他のメジャーやマイナーを学ぶ際にはもちろん、人生のどの場面でも皆さんの助けになるでしょう。
- ・来て欲しい学生像、履修学生に望まれる学修姿勢: 自分の無知と弱さを自覚し、昨日より成長したいと思える人。自分だけでなく他者のためにも、悪いと思うことをできるだけ遠ざけ、良いと思うことをできるだけ選択したい人。
- ・哲学プログラムの運営方針(教育方針): 哲学で学んだことを活かし、様々な分野で活躍したい人のためにプログラムを運営しています。したがって、哲学をメジャーとして履修したい学生だけでなく、セカンドメジャー、マイナーとして履修する方も歓迎します。

哲学プログラム

1 哲学メジャー履修モデル

本履修モデルは、哲学をメジャーとして履修する学生向けのもので、推奨科目は選択必修科目でもあります。まずは、「基礎・方法」の推奨科目を履修し、哲学・倫理学の基礎にある原理や理論、研究の方法論を学び、これらを深く理解・修得してください。また、哲学が扱う課題は、真、善、美、存在、政治、正義、自由などから、環境、生命、人権、科学、ジェンダー、ポップカルチャー、人工知能など多岐にわたります。「哲学・思想史」「応用・実践」「発展・探求」の科目は、こうした様々な課題について、多様なレベル、見地から学ぶことができます。

哲学をメジャーとする学生には、哲学・思想に関連した卒業論文作成を目指してもらいます。卒業論文作成のためには、調査の手法や論文作成の技法を身につける必要があります。哲学プログラムの教員が担当する「専攻演習I・II」を受講し、継続的に指導を受けてください。

哲学プログラム科目

Level カテゴリ	100			200			300			400		
	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位
哲学・思想史	○	西洋哲学・思想史A	2	○	西洋哲学・思想史B	2		ヨーロッパ思想と現代世界	2			
				○	西洋哲学・思想史C	2		アメリカ思想史A	2			
				○	社会思想史A	2		アメリカ思想史B	2			
				○	社会思想史B	2		日本思想史A	2			
					ヨーロッパ思想と近代世界	2		日本思想史B	2			
					イスラーム思想	2						
					科学技術史	2						
基礎・方法				○	哲学基礎文献講読A	2		科学哲学概論	2			
				○	哲学基礎文献講読B	2		意思決定の科学	2			
				○	倫理学基礎文献講読A	2	○	メタ倫理学	2			
				○	倫理学基礎文献講読B	2						
				○	論理学	2						
				○	規範倫理学基礎	2						
					確率・統計 I	2						
応用・実践	○	応用哲学	2	○	環境倫理学	2	○	哲学の諸問題	2			
							○	倫理学の諸問題A	2			
							○	倫理学の諸問題B	2			
							○	応用倫理学研究	2			
発展・探求				○	美学・芸術論	2	○	哲学研究特論A	2			
					宗教と哲学	2	○	哲学研究特論B	2			
					宗教とジェンダー	2						

その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数

哲学プログラム

1 哲学マイナー履修モデル

本履修モデルは、哲学をマイナーとして履修する学生向けのもので、哲学をマイナーとして履修する方は、哲学の研究法を学ぶために「基礎・方法」の推奨科目の履修を優先してください。同一名称で「A/B」と分かれている科目は、同じ目的でありながらも、扱うテーマや時代、トピックが異なる科目です。シラバスを読んだ上で、自分の関心に合う方の科目を先に履修すると良いでしょう。「社会思想史A/B」「哲学の諸問題」「倫理学の諸問題A/B」は、哲学的な思考や研究手法を、様々な場面で応用していく科目です。こうした科目を受講することで、哲学マイナーで得た学びを、他のメジャーの学びで実践する際の参考になるでしょう。

哲学の学びはどこにでもあります。他メジャーの学生であっても、哲学の教員のもとで学びたい、研究したいと思う学生を歓迎します。自分の興味ある学問を根本から学びたい学生は、哲学プログラムの教員が担当する「専攻演習Ⅰ・Ⅱ」をぜひ受講し指導を受けてください。

哲学プログラム科目

level	100			200			300			400		
カテゴリー	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位
哲学・思想史	○	西洋哲学・思想史A	2	○	西洋哲学・思想史B	2		ヨーロッパ思想と現代世界	2			
				○	西洋哲学・思想史C	2		アメリカ思想史A	2			
				○	社会思想史A	2		アメリカ思想史B	2			
				○	社会思想史B	2		日本思想史A	2			
					ヨーロッパ思想と近代世界	2		日本思想史B	2			
					イスラーム思想	2						
					科学技術史	2						
基礎・方法				○	哲学基礎文献講読A	2		科学哲学概論	2			
				○	哲学基礎文献講読B	2		意思決定の科学	2			
				○	倫理学基礎文献講読A	2	○	メタ倫理学	2			
				○	倫理学基礎文献講読B	2						
				○	論理学	2						
				○	規範倫理学基礎	2						
					確率・統計Ⅰ	2						
応用・実践		応用哲学	2		環境倫理学	2	○	哲学の諸問題	2			
							○	倫理学の諸問題A	2			
							○	倫理学の諸問題B	2			
								応用倫理学研究	2			
発展・探究					美学・芸術論	2		哲学研究特論A	2			
					宗教と哲学	2		哲学研究特論B	2			
					宗教とジェンダー	2						

その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数